横浜地方合同庁舎（仮称）整備等事業

よこはま新港合同庁舎 完成

利用者の安全性・利便性向上、公務の効率化を実現

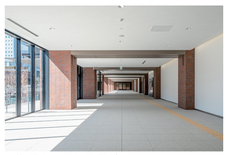
潤いのある都市環境を創出

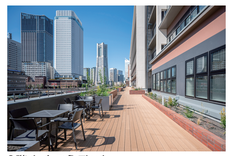
国土交通省関東地方整備局と横浜税関が横浜市中区で整備を進めていたよこはま新港合同庁舎が完成した。整備にあたってはPFI方式を導入。ヨコハマしんこうパートナーズが施設を建設し、引き続き維持管理、運営を担う。従来、横浜市内には、国の地方ブロック機関が入居する合同庁舎などが複数地区にあったが、耐震性能不足や経年による老朽化、業務の多様化と業務量の増大による狭隘（きょうあい）化が進み、安全・安心面、行政サービス面で支障が生じていたという。こうした事情を背景に、耐震安全性が高く横浜の歴史、景観に配慮した合同庁舎を新築し、15官署を移転、集約した。新合同庁舎の設計は梓設計、施工は戸田建設が手がけた。

北西側外観

北側外観

3階 大会議室


1階 エントランスロビー


2階 しんこうデッキ

南側外観

東側外観

南東側外観 夜景

南玄関と遺構展示（物揚場の石畳）

エントランス

行政サービスを全力でサポート

ヨコハマしんこうパートナーズ株式会社
代表取締役　縄田 浩

このたび、「横浜地方合同庁舎（仮称）整備等事業」の施設整備が完了し、運営が開始されますことは、ＰＦＩ事業者としてプロジェクトに参画しております弊社に取りましても誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

この施設は、横浜市内に点在している国施設の老朽化・狭あい化に伴い計画され、国の機関を集約化し、業務の効率化や国有財産の有効活用などを図ることを目的に整備されたものであります。みなとみらい・新港地区という「横浜」を代表する観光地に立地し、「赤レンガ倉庫」と調和する外観デザインとしているうえ、工事中に発見された旧発電所の遺構をモニュメントとして展示するなど、景観や歴史の継承に配慮しているのが特徴の一つであります。

ＢＣＰ対応では、免震技術などを採用するとともに、設備インフラを２階より高い場所に配置するなど、緊急時においても即応体制が取れる機能を有しております。

こうした意義深い施設の維持管理・運営に当たりましては、「安心安全」「環境配慮」「長寿命化」をキーワードに、「使いやすさ」を追求し、入居される国の15官署の行政サービスを全力でサポートさせていただく所存であります。

結びに、この施設が地域のにぎわい創出、景観形成に貢献し、多くの方々に末永く愛されることを祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

※ヨコハマしんこうパートナーズ株式会社構成企業
戸田建設株式会社（代表企業）　株式会社梓設計
株式会社ハリマビステム　ＩＨＩ運搬機械株式会社
綜合警備保障株式会社

市内15官署を移転集約

国土交通省関東地方整備局
営繕部長　高橋 武男

平素より官庁営繕事業の推進のため、格段のご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

このたび、横浜市新港地区で整備を進めておりました『よこはま新港合同庁舎』が竣工しました。本合同庁舎は、横浜市内に分散していた国の15官署を移転集約し、合同庁舎として整備するもので、所要の耐震安全性を確保することにより、利用者の安全性・利便性、公務の能率増進を図ることを目的としています。

本事業は、ＰＦＩ法に基づき、民間事業者のノウハウを活用し、事業者が自ら国有地である本敷地に本施設等を整備した後、本施設等の維持管理および運営を行うＢＴＯ（Build-Transfer-Operate）方式を採用しています。

入居する15官署の中には、災害応急対策活動を行う官署があり、災害発生時においても業務が継続できる施設機能を確保する必要があるため、施設機能が確実かつ効果的に発揮できるよう、施設全体としての総合的な耐震性能が確保できる施設整備を行うとともに、地域防災に寄与するため横浜市と協議を行い、津波避難ビルとして整備をしています。

また、「みなとみらい21新港地区地区計画」や「みなとみらい21新港地区街並み景観ガイドライン（景観計画・都市景観協議）」等の地域の計画をふまえた港とその歴史にふさわしい街並みを形成する施設整備や敷地から出土した港湾施設の遺構の一部を外構に展示をするなど、事業関係者とともに潤いのある都市環境の創造を目指した合同庁舎整備を進めてまいりました。

結びに、本庁舎が無事に竣工しましたことは、各入居官署の皆さまおよび周辺地域の皆さまのご理解とご協力、本ＰＦＩ事業関係各位のご尽力とご協力のたまものであり、心より感謝を申し上げます。

施工のポイント

ICT、省力化・工業化工法を積極的に導入

戸田建設株式会社
作業所長　北 良平

本工事は、横浜市内に点在している国の機関を集約化するための施設を建設するものです。施工に当たっては、ホレンガ倉庫やランドマークタワー、観覧車など「横浜」を象徴する立地であること、その中で国の官庁施設を建設する工事であることから、「魅せる現場」をテーマにしました。

取り組みの一つとして、安全性と生産性の向上を目的に「ＩＣＴ技術」「省力化・工業化」を積極的に導入したことです。この施設には、大地震への対応として「免震構造」や、構造的な空間の優位性を確保するため、柱と梁端部をＲＣ造、梁中央部をＳ造とした「TO-RCSB構法」などが採用されています。

免震構造における、免震上部基礎は鉄筋量が多く、納まりが良くないケースが往々にあります。そこで、施工手順も含めたＢＩＭモデルで検証を行い、設計・施工者・協力会社間で納まりや手順の合意をすることで手戻りなく、作業を円滑化させました。

躯体工事では、「TO-RCSB構法」は設計上のメリットはあるが、工種が増えることによる工程の煩雑化が懸念されました。そこで躯体サイクル工程を日毎でＢＩＭモデル化し、工程上の矛盾点がないか検証しました。作業の手順や安全施設の設置場所などを「見える化」することで、安全性と生産性の向上につなげました。

施設完成後の維持管理や使いやすさなどの検証にも、ＢＩＭを多く活用しています。設備配管やダクト類などが収容される天井内・免震ピット内のメンテナンス性検証にＢＩＭモデルを活用し、維持管理時の作業性などについて空間的な確認を行いました。サイン計画の検証には、来庁者のアプローチや視認性を意識し、ＶＲモックアップを用いました。

この他、深層地盤改良工事の施工管理や、掘削工事に用いた建機の操作などにもＩＣＴ技術を導入しました。

積極的に省力化や工業化へも取り組みました。基礎躯体工事では、鋼製型枠を採用し、耐圧スラブ下の埋め戻しと型枠の埋め込みを同時に行えるようにして、工期を短縮しました。鉄筋工事では、基礎梁や梁、柱の配筋をヤードで先組みし、それをクレーンで所定の位置にセットすることで、作業の安全性と効率性を上げました。現場内での作業を減らすため、柱や梁のハーフＰＣ化など工業化も随所に採用しました。

本庁舎の建物長さが約163mあるなど、施設および敷地が平面的に広いことから、安全管理も大きなポイントになりましたが、職長会（赤帽会）を中心に安全衛生活動や職種間のコミュニケーションが活性化され、作業員一人一人にまで安全意識を高めるべく活動が出来ました。

横浜を代表する魅力ある土地に、国の存在感ある庁舎建設に携われたことに喜びを感じるとともに、一緒に工事を進めた社員・職長、ご協力・ご指導いただいた全ての関係者の方々に御礼申し上げます。

設計コンセプト

歴史をつなぎ、人々をつなぎ、にぎわいをつなぐ庁舎

株式会社梓設計
アーキテクト部門 BASE04　土井 英尚

新港地区の歴史と景観を踏まえ新たなつながりをつくる

施設が建つ新港ふ頭は、明治後期から大正にかけて建設された、わが国初の近代的な埠頭です。赤レンガ倉庫などの歴史的資産を生かした独自のまちづくりが行われており、多くの観光客や市民が訪れています。その中でも特に本敷地は、万国橋と新港橋に接しており、汽車道・馬車道・象の鼻パークからの回遊動線の交点に位置しています。

このような歴史性や地域性を踏まえ「新港の歴史をつなぎ、人々をつなぎ、にぎわいをつなぐ庁舎」をコンセプトに掲げました。

さまざまな場所からの回遊動線を受け止める仕掛けとして、敷地北西角にはポケットパーク、東側には広場を設けることで、人々が滞留できるパブリックスペースを創出しました。

良好な水際プロムナードが整備されている敷地南側に対しては、ロビーや食堂、売店などのにぎわい機能を配置して、水際空間に開かれた施設構成としました。施設内を南北に貫き通り抜け動線となるエントランスホールを設けることで、横浜市の景観ガイドラインで期待される新たな人の流れをつくる計画としました。

さらに、施設２階には水際プロムナードに沿って「しんこうデッキ」を設け、利用者の憩いの場となる屋上空間を提供しています。

また、敷地内で発掘された旧発電所のレンガ基礎や、荷上場の石積などの遺構を外構に展示することで、歴史的資産を活かし、未来へとつなぐ工夫を行いました。約160mに及ぶ長大なファサードは、デザインの分節化を図るとともに、低層部はレンガタイル、高層部は明るい色彩とすることで周辺建物との調和を図り、新港地区全体としてまとまりのある都市景観を創出しました。

本施設には横浜市内に分散している15の多様な官署が入居します。来庁者の多い官署は低層階に、秘匿性の高い官署は上層階に配置することで、官署特性に応じた階層計画としています。東西に長い平面形状となることから、ツインコア形式の明快で機能的な平面計画としてフレキシビリティーに配慮しています。

環境性と防災性を高めた施設づくり

環境負荷低減に配慮した省エネルギー手法を導入することで、ＣＡＳＢＥＥ横浜ＡランクＡを取得のほか、免震構造や非常用発電設備の導入、高潮や津波に対する浸水対策を施すことで業務継続性を高め、入居官署の災害対策活動に資する計画としています。

本施設の完成により、この地区には今まで以上に多くの人が働き、訪れるようになります。まち全体の回遊性がより一層高まり、にぎわいが創出され、地域の核となる施設となることを願っています。

■ ウォータージェット工事
株式会社 アシレ
横浜市旭区上川井町359-1　電話 045(923)8191

■ 雑工・養生・クリーニング・配筋写真撮影・損害工事
株式会社 アットワーク
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-3-3　電話 03(6447)0749

■ とび工事
株式会社 石邦建設
神奈川県座間市四ツ谷781-1　電話 046(253)9186

■ 発泡ウレタン吹付工事
株式会社 糸庄
群馬県高崎市問屋町3-10-2　電話 027(364)3111

■ 左官工事
株式会社 稲田左官工業所
神奈川県小田原市鴨宮347-1　電話 0465(48)4555

■ フェンス・防護柵・車止め・旗ポール設置工事
井上鋼材株式会社
横浜市鶴見区鶴見中央3-6-25　電話 045(521)2131

■ 測量・墨出し工事
株式会社 HSS
横浜市泉区和泉中央南1-40-9　電話 090(4591)1852

■ 耐火被覆・断熱工事
エスケー化研株式会社
横浜市戸塚区品濃町549-2　電話 045(820)2416

■ 地盤改良工事
株式会社 エステック 東京支店
東京都中央区新川1-5-18　電話 03(6222)2555

■ シーリング工事
株式会社 エヌエスシーリング
横浜市旭区鶴ヶ峰2-74　電話 045(371)8948

■ 型枠工事
株式会社 蛯名建設
横浜市泉区和泉町710-1　電話 045(800)0022

■ 防水工事
奥山化工業株式会社
東京都中央区銀座8-4-9　電話 03(3571)2703

■ 金属工事
株式会社 弘和建商
愛知県豊橋市向山町字水車37-28　電話 0532(63)1234

■ スチールパーティション・集密書架工事
コクヨマーケティング株式会社 神奈川支店
横浜市西区みなとみらい2-2-1　電話 045(670)7660

■ 塗装工事・サイン工事
株式会社 サカクラ
横浜市磯子区岡村7-35-16　電話 045(753)5000

■ 植栽工事
サカタのタネグリーンサービス株式会社
横浜市都筑区仲町台3-5-7　電話 045(945)8828

■ 内装仕上げ工事
株式会社 サンユー
東京都新宿区大京町23-3　電話 03(4334)9351

■ スチール製建具・軽量スチール製建具・シャッター・防煙垂壁工事
三和シヤッター工業株式会社 首都圏ビル建材横浜支店
横浜市港北区新横浜2-5-5　電話 045(478)0027

■ 左官工事
株式会社 シノハラ
川崎市宮前区宮生3-34-30-2F　電話 044(975)0566

■ 実験機器設備工事
株式会社 島津理化
東京都千代田区神田神保町1-32　電話 03(6854)0210

■ 鉄筋工事
株式会社 スチール・ワン
横浜市都筑区折本町363-1　電話 045(470)5413

■ 鋼製床工事
株式会社 染野製作所
東京都大田区西蒲田7-60-1　電話 03(3735)4891

■ 金属工事
株式会社 大光製作所
埼玉県越谷市七変町8-190　電話 048(962)0141

■ 型枠工事
有限会社 大相エムエイティ
相模原市南区麻溝台3506　電話 042(741)5681

■ クレーン工事
泰豊クレーンリース株式会社
東京都中央区八丁堀1-7-7　電話 03(3523)5711

■ 機械土工事
大蓉工業株式会社
埼玉県川口市並木4-15-6　電話 048(259)0159

■ 鉄筋溶接継手工事
株式会社 高正組
東京都品川区戸越6-9-19　電話 03(5702)8390

■ 鉄骨鍛冶工事
橋ルーフ企画株式会社
神奈川県小田原市小船1026　電話 0465(43)3870

■ タイル工事
株式会社 TANUMA
神奈川県横須賀市大矢部1-13-1　電話 046(854)6677

■ クロス・床貼り 内装仕上工事
株式会社 東亜内装
東京都江戸川区平井7-7-4　電話 03(6657)2233

■ 押出成形セメント板工事
東建エンジニアリング株式会社
東京都中央区日本橋浜町2-11-2　電話 03(3669)5481

■ プレキャスト工事
トヨタT&S建設株式会社
愛知県豊田市亀首町65番地　電話 0565(45)7811

■ コンクリート圧送工事
番場建材工業株式会社
神奈川県横須賀市長沢4-33-25　電話 046(849)0209

■ 型枠工事
株式会社 福丸建設
川崎市川崎区追分町17-7　電話 044(333)2903

■ 昇降機設備工事
フジテック株式会社 横浜支店
横浜市西区南幸1-1-1　電話 045(412)4800

■ タイル・レンガ工事
不二窯業株式会社 横浜営業所
横浜市都筑区中川1-19-26-202　電話 045(913)5771

■ 免震工事
普代産業株式会社
東京都中央区京橋2-18-2　電話 03(3535)2929

■ 鉄筋工事
株式会社 ブラスト 鉄鋼建材部
横浜市金沢区福浦2-16-8　電話 045(786)5221

■ 附帯鉄骨・製作金物工事
豊和エンジニアリング株式会社
東京都葛飾区西水元3-2-11　電話 03(3600)9431

■ 鉄骨工事
本間興業株式会社
神奈川県横須賀市内川1-8-54　電話 046(834)1221

■ 解体工事
ミネ工業株式会社
横浜市港南区日野中央2-32-37　電話 045(353)7714

■ ヒ・土工事
向井建設株式会社
東京都千代田区神田須田町2-8-1　電話 03(3257)1500

■ 家具工事
株式会社 モビーリア
東京都新宿区西新宿8-5-3　電話 03(5338)8878

■ アルミ建具工事
横浜ビル建材株式会社
横浜市中区太田町4-48　電話 045(212)0992

■ 鉄骨階段工事
株式会社 横森製作所
東京都渋谷区幡ヶ谷1-29-2　電話 03(3460)9222

■ LGS・ボード工事
萬産業株式会社
横浜市港南区日野2-1-5　電話 045(841)9961

■ サイン工事
ラッキー工芸株式会社
東京都品川区東五反田1-25-11　電話 03(5447)7150

■ 金属製建具工事
株式会社 LIXIL
東京都墨田区錦糸1-2-4　電話 050(1790)2108

施工
戸田建設株式会社
横浜支店　横浜市西区みなとみらい4-4-2　電話 045(228)8207

■ 電気設備工事 ■
株式会社 関電工
神奈川支店　横浜市西区平沼1-1-8　電話 050(3186)2922

■ 空調設備工事 ■
Make Next. 未来へつなぐ笑顔のために
九電工
横浜支店　横浜市神奈川区栄町5-1　電話 045(451)6190

■ 給排水衛生設備工事 ■
エルゴテック株式会社 ERGOTECH
横浜市西区みなとみらい3-6-3　電話 045(683)1570